川崎市立宮崎台小学校　学校だより

みやざきだい　１１月

令和８年１０月２０日

地域に学び地域にかかわる～総合的な学習（探究）の時間～

校長　森島　美子

さわやかな秋晴れの日があるかと思うと日中はまだ暑さを感じることもあります。至る所でススキが穂を出し、朝夕には涼しさもあり、季節の移ろいを感じております。

さて、学校は後期がスタートして１週間ほど経ちました。１０月は遠足や校外学習が目白押しです。教室や学校という場を離れて、公共施設利用の際のマナーや集団で行動する際の留意点、バスや公共交通機関利用時のマナー、あいさつ等々、校外だからこそ気を付けること、気を配ることも出てきます。帰校後「楽しかった・勉強になった」という感想の背景には、マナーや約束事が守れていた上での振り返りが大事だと考えています。また、総合的な学習の時間も、より充実してきており、それぞれの学年・クラスで課題解決に向けて情報収集し、行動・実践に入っています。先日も、６先生の各クラスの子どもたちが、モッチフェスに向けてこんなことをしたい、具体的にはこんなことを考えていると私のところにプレゼンテーションをしにきました。これまでの経験があるので、大人の目から気になるところもしっかりと考えられており、納得のできるものでした。どんなことを実践しようとしているのか、お子さんに尋ねてみてください。

かわさき子どもの権利の日　～11月20日～

日本で最初の「川崎市子どもの権利に関する条例」が施行されて２５年が経過しました。毎年、１１月２０日前後の時期に、市内の各学校で子どもの権利学習や人権について振り返るなどの機会を設けております。一人ひとりのGIGA端末を利用して子どもの権利学習をすることもできます。学校では、日頃から人権尊重教育を大事にして教育活動を進めておりますが、子ども一人ひとりが人として大切にされ、守られながら自分らしく生きることができているか、再確認していきます。本校では１１月１３日、１４日の学校公開日に人権に関する授業を全クラスで行います。ご参観ください。

かわさき読書週間　～10月25日から11月7日～

１１月の第１日曜日は「かわさき読書の日」になっています。先日、新聞で「AI時代こそ読書指導を」という記事を目にしました。そこには「生成AIは便利なツールだが思考や学びを全て代替できるものではない。ツールを使いこなす言語能力や情報活用能力の基盤となるのが読書指導読書は語彙力や読解力だけでなく、思考力や想像力、人間性も育む」とありました。読書の秋が空言になりませんように…。本校の図書室が４階に新たに開館されて１年弱。学校司書の庄司先生や「図書ボランティア」の皆さん、そして図書委員もそれぞれの立場から読書の推進や図書館運営や環境整備を図ってくれています。読書を意識する機会にしたいですね。